

2023年9月・京都にて開催決定！

「もしも猫展」京都展

会期／2023年9月23日（土・祝）～11月12日（日）

会場／京都文化博物館 3階・4階展示室

2023年9月23日（土・祝）～11月12日（日）の期間、京都文化博物館にて「もしも猫展」を開催いたします。

「もしも、うちの猫が人のように話したら？」そんな想像をしたことはありませんか。

人間以外の何かを人間になぞらえることを擬人化とよびます。

天保12年（1841）頃から、浮世絵師の歌川国芳（うたがわくによし）は猫を擬人化したり、役者を猫にした作品を次々と発表していきます。

本展では猫の擬人化作品と、それらを描いた歌川国芳を主軸に据えながら、江戸時代の擬人化表現の面白さに着目します。そのなかで、なぜ国芳の作品にかくも惹きつけられるのか、その魅力のありかを探っていきます。

【開催概要】

名称 : もしも猫展
会期 : 2023年9月23日（土・祝）～11月12日（日） 44日間
※10月17日以降、一部作品の場面が変わります
開室時間 : 10:00～18:00（金曜日は19:30まで）※入場はそれぞれ30分前まで
休館日 : 月曜日（ただし、10月9日は開館）、10月10日
会場 : 京都文化博物館 3階・4階展示室
料金 :

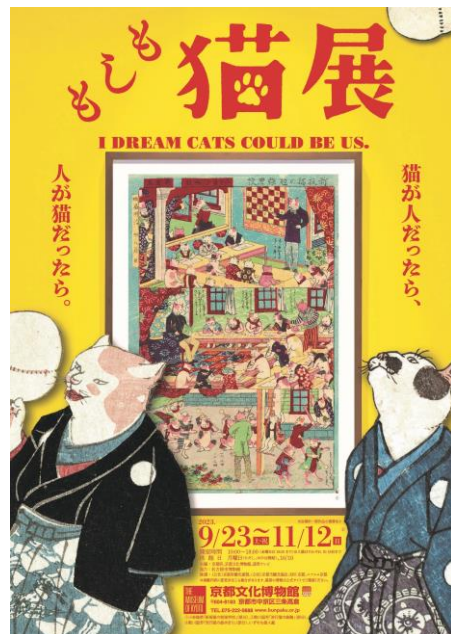
	一般	大高生	中小生
当日券	1,600円	1,000円	500円
前売券・団体（20名以上）	1,400円	800円	300円

※未就学児は無料（ただし、要保護者同伴）※学生料金で入場の際には学生証をご提示ください。

※障がい者手帳などをご提示の方と付き添い1名までは無料。

※上記料金で2階総合展示と3階フィルムシアターもご覧いただけます。（ただし催事により有料の場合があります。）

販売期間 : 前売 7月23日（日）～9月22日（金）
当日 9月23日（土・祝）～11月12日（日）



■■企画チケット■■

にゃんともお得！前売ペア割チケット

販売価格：2,600円（税込／一般のみ） 販売期間：前売券販売期間（7月23日～9月22日）

※1枚ずつでも使用できます
にゃいと

学芸員のレクチャー付き！夜猫ミュージアムチケット

販売価格：2,200円（税込／一般のみ） 販売期間：7月23日～ ※定員に達し次第、販売を終了します

日時 : 10月8日（日）18:00～20:00（入場は19:00 まで）

定員 : 150名 ※レクチャー時間指定制18:00・18:30・19:00（チケット購入時にレクチャー時間を指定いただきます。）

販売場所：ローソンチケット

にやぞ

謎解きゲームキット付きチケット

企画 : テクニコテクニカ 販売期間：7月23日～数量限定

販売価格：謎解きゲームキット1,500円（税込）+展覧会入場料

販売場所：イープラス

主催 : 京都府、京都文化博物館、読売テレビ
協力 : 名古屋市博物館
後援 : （公社）京都府観光連盟、（公社）京都市観光協会、KBS京都、エフエム京都
お問い合わせ : 京都文化博物館 Tel. 075-222-0888（代表）

【取り扱いプレイガイド】

アソビュー / <https://www.asoview.com/channel/tickets/wYslxrd6sb/>
チケットぴあ / （セブンイレブン、ファミリーマート） Pコード：686-499 <https://w.pia.jp/t/nekoten/>
ローソンチケット / （ローソン、ミニストップ） Lコード：54314 <https://l-tike.com/nekoten/>
CNプレイガイド / （ファミリーマート店内マルチコピー機） 0570-08-9999（10:00～18:00 オペレーター対応）
<https://www.cnplayguide.com/nekoten/>
イープラス / （ファミリーマート店内マルチコピー機） <https://eplus.jp/nekoten-kyoto/>
セブンチケット / （セブンイレブン） セブンコード：101-182 <http://7ticket.jp/sp/nekoten>
楽天チケット / <https://r-t.jp/moshimoneko>

本展の見どころ

《見どころ①》 人のような猫の愛嬌ある姿を楽しむ

猫をテーマに据えた浮世絵をはじめとする135件の作品により、江戸時代における擬人化の世界を紹介します。浮世絵や猫を愛してやまない皆さんはもちろんのこと、現代の擬人化表現に関心を持つ方にも楽しんでいただけることでしょう。ユーモラスで愛嬌ある姿に思わずクスリとすること、請け合いです。

《見どころ②》 歌川国芳の機智に富んだアイデアを楽しむ

大の猫好きとして知られる浮世絵師の歌川国芳《うたがわくによし》は、天保12年(1841)から集中的に猫の擬人化作品を描いています。その展開と後世への影響を紹介しながら国芳の魅力を探ります。機智に富んだアイデア溢れる国芳の作品をご堪能ください。

展示構成

【序 章】 猫を描く人 -----

もしも猫が人であったなら。人が猫であったなら。

多くの人が抱く夢想ですが、突き詰めた絵師といえ、この人をおいて他にいないでしょう。根っからの猫好きで知られる浮世絵師の歌川国芳《うたがわくによし》を紹介します。

【第1章】 くらべてみる -----

展示会の幕開けとして、擬人化して描いた作品と、共有されていたイメージを具体的に見くらべてみることで、擬人化表現の魅力を再発見していきます。



歌川国芳「流行猫の曲鞠」 個人蔵

【第2章】 擬人化の効能 -----

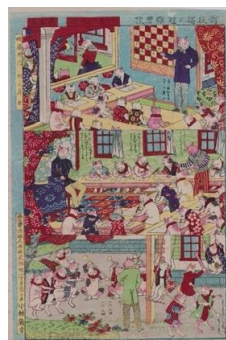
擬人化世界の入り口としてまず、人ならぬものが主役の異類物《いるいもの》を、つづいて昔ばなしや戯画《ぎが》、風刺画《ふうしが》など、江戸時代から明治にかけての擬人化作品を紹介していきます。これらを眺めていくことで、擬人化することによりどのような効能が引き出されるのか、感じていただけることでしょう。



「大なまづ ねこのたはむれ」 個人蔵

【第3章】 おこまものがたり -----

天保13年(1842)、山東京山と歌川国芳によって、猫のおこまの一代記をあらわした合巻《ごうかん》(長編小説)『朧月《おぼろづき》猫《ねこ》の草紙《そうし》』が刊行され、人気をよびました。異類《いるい》(人にあらぬもの)の婚礼儀礼をつづった「嫁入物《よめいりもの》」の流れのなかに同書を位置づけながら、「おこまものがたり」の継承と広がりを明らかにしていきます。



小林幾英「新板猫の勉強学校」 個人蔵

【第4章】人、猫になる

天保12年（1841）、歌川国芳《うたがわくによし》による団扇絵《うちわえ》「猫の百面相《ひゃくめんそう》」が流行します。猫を人のように描くのではなく、実在する人間の歌舞伎役者を猫に見立てて描くという趣向は、これまでにない新機軸でした。こちらは「もしも、あの有名人が猫になったら？」というアイデアが起点になったものといえるでしょう。「猫の百面相」流行の様相と展開をみていきます。



歌川国芳「猫の百面相 忠臣蔵」 個人蔵

団扇絵とよばれる浮世絵版画。その名のとおり、団扇の骨に貼って団扇として使用されました。よく見ると骨の跡があるのが分かります。つまり、わざわざ骨から外して大事にしまわれた結果、今に伝わったことが想像できます。

【特集】おしゃべりな顔、百面相

『朧月猫の草紙』や「猫の百面相」を発表する少し前から、国芳は「百面相」なる絵を手掛けるようになります。表情だけでその人がどのような状況に置かれているのかを滑稽に表したものです。「猫の百面相」との関係を探りつつ、国芳の「百面相」を見ていきます。

【第5章】国芳のまなざし

いかに対象を観察し、描くか。そしてアイデアをどのように膨《ふく》らませ、形にしていくな。「百面相《ひゃくめんそう》」で培《つちか》われた画才は、そのまま猫の戯画《ぎが》にも結実しています。国芳の観察力や的確な表現力とともに、次から次へとあふれるユーモラスなアイデアをお楽しみください。



歌川国芳「流行猫の狂言づくし 熊ヶ谷次郎直実ほか」 個人蔵

【終章】もしも…。

展示会の最後にもういちど、歌川国芳が擬人化猫作品を集中的に描きはじめた頃の作例をご覧ください。浮世絵師、歌川国芳の溢れる才と魅力を存分にご堪能ください。

関連イベント

講演会「国芳、猫を描く」

講師 : 津田 卓子氏（名古屋市博物館 学芸員）
日時 : 2023年10月7日（土）10:30～12:00
場所 : 3階フィルムシアター
定員 : 150名
参加費 : 無料（ただし本展示会入場券＜半券可＞が必要）

《申込方法》

往復はがきに住所・氏名（返信面にも）・電話番号・希望イベント名を記入し、京都文化博物館「もしも猫展」係へお送りください。または、当館ホームページ「特別展イベント申込フォーム」（https://www.bunpaku.or.jp/exhi_special/form/）よりお申し込みください。

※先着順。定員に達し次第、受付を終了します。

※参加者1名ごとにお申し込みください。

学芸員によるギャ（ニャ）ラリートーク

日時 : 9月27日（水）14:00～、10月4日（水）14:00～、10月22日（日）11:00～
各日とも30分程度
場所 : 京都文化博物館 4階・3階展示室内
※事前申込不要、参加費無料（ただし、当日の入場者に限ります）

広報用画像として提供いたします。ご希望の場合は、下記よりお申込みください。

【画像申込みフォーム】

<https://forms.gle/KNvxBpjAwz3JkjJa8>

※入力が難しい場合は、広報事務局までお問い合わせください。



【広報用画像使用に関する注意事項】

- 本展広報目的での使用に限ります（会期終了まで）。使用後は、データの破棄をお願いいたします。
- 展覧会名、会期、会場、画像・クレジットは必ず記載してください。
- 作品画像は全図でご使用ください。トリミング、文字乗せなどの加工・改変はできません。
- 転載、再放送など、二次使用される場合は別途申請をお願いいたします。なお、展覧会終了後の二次使用はできません。
- webサイトに掲載する場合は、72dpi 以下、400×400pixel 以下の解像度にし、コピーガードをかけてご掲載ください。
- 基本情報、画像使用などの確認のため、ゲラ刷り・原稿段階のものを「広報事務局」にお送りください。
- 掲載・放送後は、必ず掲載紙（誌）、同録DVDを下記「広報事務局」までお送りください。

【広報画像・キャプション一覧】ご希望の画像番号の□に✓をお願いします。

【1】 	【2】 	【3】 	【4】
【5】 	【6】 	【7】 	

番号	クレジット
☐ 1	歌川国芳「流行猫の曲鞠」 個人蔵
☐ 2	歌川国芳「流行猫の狂言づくし 熊ヶ谷次郎直実ほか」 個人蔵
☐ 3	「大なまづ ねこのたむれ」 個人蔵
☐ 4	小林幾英「猫の運動尽」 個人蔵
☐ 5	歌川国芳「猫の百面相 忠臣蔵」 個人蔵
☐ 6	小林幾英「新板猫の勉強学校」 個人蔵
☐ 7	チラシビジュアル

貴社名／	
お名前／	
部署／	ご所属／
貴媒体名／	媒体種／
媒体発行・運営社名／	
サイトURL／	
掲載号・露出予定日／	月号（ 月 日号）／ 月 日発売予定 ☐ WEBへの転載あり
TEL／	FAX／
E-MAIL／	
媒体プレゼント用チケット／ ☐ 希望 （2組4名まで）※1点以上の広報用画像使用必須 ※提供枚数に達した場合、提供を終了いたします ※発送は開幕直前になります お送り先／〒	

報道に関するお問合せ

「もしも猫展」広報事務局（ネネラコ内）

E-MAIL / moshimoneko-kyoto@nenelaco.com TEL / 06-6225-7885 FAX / 06-7635-7587

〒531-0072 大阪市北区豊崎3-15-5 TKビル